



LED小型スポットライト

Crenostar-LED

LF-4AII-W・C-D 取扱説明書

Spotlight Manual

この度は松村電機の製品をお買い上げいただき、

誠にありがとうございます。

未長く安全にご愛用いただくために、

取付・設置およびご使用前には、

必ず取扱説明書をお読みください。

お読みいただいた後は大切に保管し、

必要なときに活用してください。






《目 次》

警告表示内容の説明.....	1	外形寸法.....	13
本体表示銘板と表示内容.....	2	照度データ.....	13
取扱上の注意事項.....	3	点検と修理.....	14
		仕様.....	15
ご使用方法.....	6	弊社連絡先.....	15
[1] 各部の名称.....	6		
[2] 取付け方法.....	6		
(1) スタンドへの取付け.....	6		
(2) ハンガーの取付け.....	7		
(3) 器具の吊りパイプへの取付け.....	7		
[3] 電源の接続.....	8		
(1) 入力電源について.....	8		
(2) 電源の接続.....	8		
[4] 操作方法.....	9		
(1) DMX／MANUAL切替えスイッチ.....	9		
(2) DMXアドレスの設定.....	9		
(3) 点灯チェックモード.....	10		
(4) 手元制御について.....	10		
(5) フォーカス調整.....	11		
(6) フィルタホルダの装着.....	11		
[5] レンズの清掃.....	12		

《警告表示内容の説明》


照明機材の本体に警告表示をしています。
取扱うときには、警告表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。


製品本体への警告表示の例

 警 告		シグナル用語区画
		絵表示区画
火災のおそれあり ・可燃物を近距離照射するな ・電源ケーブルを灯体に接触させるな	やけどのおそれあり ・点灯中や消灯直後の灯体に素手で触るな	指示文区画

《警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語》

警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語の意味

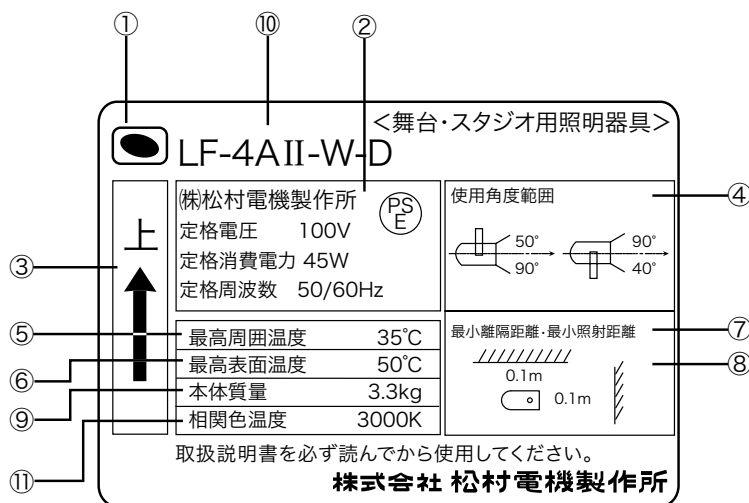
 **警告** ———— 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

 **注意** ———— 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

《本体表示銘板と表示内容》

本体に下記の銘板を表示しています。

取扱うときには、銘板の表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。



- ① 用途表示 : 「演出空間用照明器具」であることを表示しています。
- ② 法定表示 : 電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「定格消費電力」「定格周波数」「 PS E マーク」を表示しています。
- ③ 上部方向表示 : 器具の上部方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
- ④ 使用角度範囲 : 基準方向（光軸水平方向）に対する使用角度の範囲を表示しています。図示された範囲内でご使用ください。
- ⑤ 最高周囲温度 : 通常の使用状態のもとで、連続動作させてもよい周囲温度の最高値を表示しています。
- ⑥ 最高表面温度 : 使用角度範囲内において、連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑦ 最小照射距離 : 器具と被照射対象物との間の最小距離を表示しています。
- ⑧ 最小離隔距離 : 器具周辺と可燃物との間の最小距離を表示しています。
- ⑨ 本体質量 : 器具本体の質量を表示しています。（ハンガー、その他の付属品は含みません）
- ⑩ 型名 : モデル番号（型番）または名称を表示しています。
- ⑪ 相関色温度 : 相関色温度を表示しています。

《取扱上の注意事項》

警 告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- 器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。
取付金具の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の使用角度に制限のある器具があります。
本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を超えると、器具の破損、不点灯や損傷の原因となります。



- 器具の取付・設置時は、ケーブル類を器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因となります。



- 振動の激しい場所、常時振動のある場所への取り付け設置は行わないでください。
器具本体の破損などで落下し物的損害・けがの原因となります。



- 機器の銘板に表示されている電源に接続してください。火災・不点灯や損傷の原因となります。



- 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。



- フィルタホルダ枠の押さえ金具（フィルタホルダ固定ネジ）を確実に止めてください。
押さえ金具（フィルタホルダ固定ネジ）を確実に止めないと、フィルタホルダが落下し、
物的損害・けがの原因となります。



- フィルタホルダは、適合品を使用してください。フィルタホルダの破損・変形したものを使用
すると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。



- 煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると火災・感電の原因となります。



- 異常と思われるときはすぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因
を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理を依頼してください。



- 落下防止ワイヤを必ず器具のアームに潜らせてスナップフック受金具に掛けてください。
確実に取付けないと取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。



- ダボ締結ナットに緩みがないか日常保守点検をしてください。
確実に取付けないと取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。

注 意

1.使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災・不点灯や損傷の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

2.取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟練者だけの対応は、間違いの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付・設置に方向性のある器具があります。
本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体の落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付け金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。

3.使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。

4.使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付けに方向性のあるものがあります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けには、器具本体に落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付け金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。
- 紙フィルタホルダは、適合品を使用し位置ずれに注意してください。
位置ずれがあると火災の原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。
未熟練者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- この器具は精密機器です。衝撃の加わる操作はしないでください。
器具の損傷、不点灯や損傷の原因となります。
- ハロゲン器具等と同時に使用する場合は、本器具から十分離して使用してください。
熱により不点灯や損傷の原因となります。
- 点灯しているLEDを近距離もしくは長時間直視しないでください。
目を傷めたり、悪影響を及ぼす恐れがあります。



注 意

5.保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電することがあります。
- 電源ケーブル、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
- 安全シールド（レンズ）に亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。火災・やけどの原因となります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は振動で緩む場合があります取扱説明書に基づき処置をしてください。故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないで、清掃してください。火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。

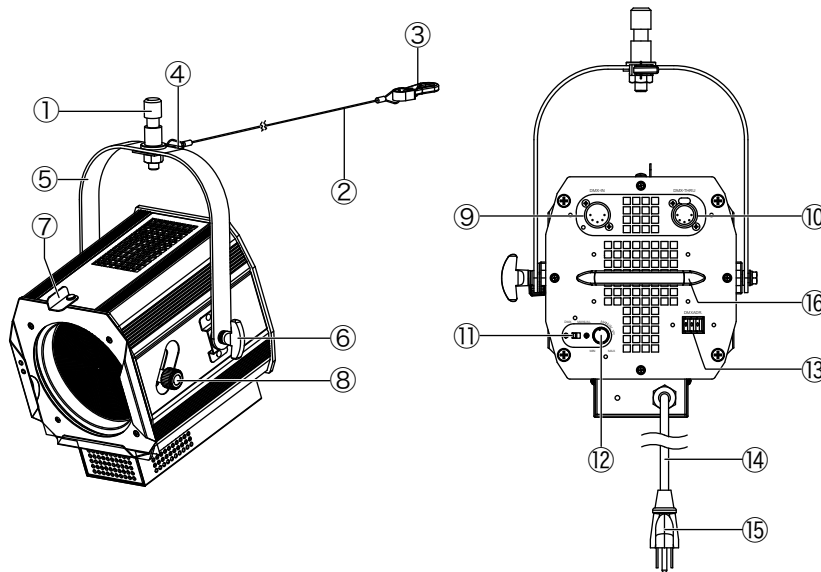
6.保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。感電・火災の原因となるおそれがあります。

《ご使用方法》

[1]各部の名称

- ①ダボ
- ②落下防止ワイヤ
- ③スナップフック
- ④スナップフック受金具
- ⑤アーム
- ⑥角度調整ハンドル
- ⑦フィルタホルダ枠押さえ金具
- ⑧フォーカスハンドル
- ⑨DMX-INコネクタ
- ⑩DMX-THRUコネクタ
- ⑪DMX/MANUAL切替えスイッチ
- ⑫調光ボリューム
- ⑬ADDRESS設定スイッチ
- ⑭電源ケーブル
- ⑮電源プラグ
- ⑯取手



[2]取付け方法

(1) スタンドへの取付け

●スタンドは、平らな所でご使用ください。

1) ダボ固定ハンドル⑰を反時計回りにまわして、ダボ受け穴⑱にダボ①が入るよう緩めます。

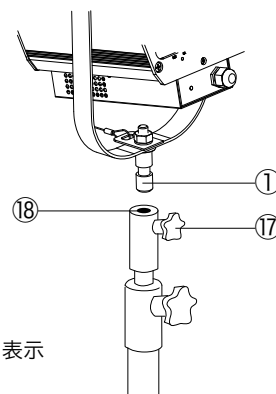
2) ダボ①をダボ受け穴⑱に差し込みます。

3) ダボ固定ハンドル⑰を時計回りにまわして確実に固定します。

4) 灯具の銘板の上部方向表示に従い器具をセットします。



上部方向表示



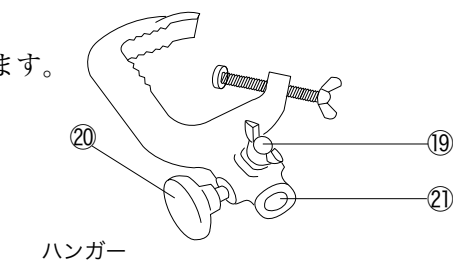
(2)ハンガーの取付け

●照射方向を変える場合は、決して落下防止蝶ボルト⑱を緩めないでください。

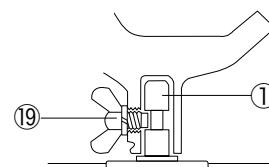
1) ダボ固定ハンドル⑳と落下防止蝶ボルト⑱を反時計回りにまわして緩めます。

2) ハンガーのダボ受け穴㉑に、ダボ①が見えなくなるまで差し込みます。

3) 落下防止蝶ボルト⑱を、スプリングワッシャが平らになるまで時計回りにまわします。ハンガーを持ち、「落下防止が働いている」ことを確認します。



4) ダボ固定ハンドル⑳を時計回りにまわして、ダボ①を確実に固定します。

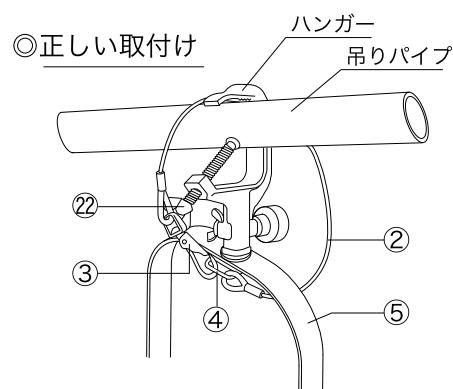


(3)器具の吊りパイプへの取付け

1) ハンガーのハンガー固定蝶ボルト㉒を反時計回りにまわして緩め、パイプに取付ける幅をとります。

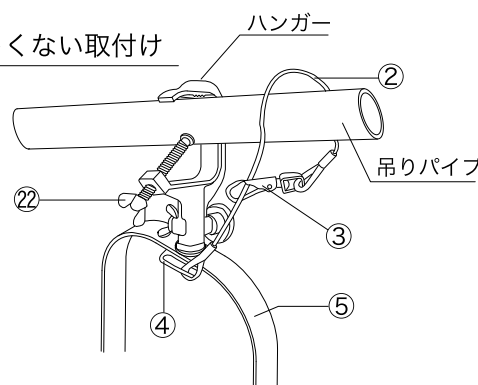
2) ハンガーを吊りパイプに取付け、ハンガー固定蝶ボルト㉒を時計回りにまわして確実に固定します。

3) 器具の落下防止ワイヤ②をアーム⑤に潜らせ、吊りパイプにかけて（正しい取付け図参照）、スナップフック③をスナップフック受金具④に確実に取付けます。



※スナップフック③を落下防止ワイヤ②に掛けないでください。

×正しくない取付け



⚠ 注意

- 一度器具が落下し、ワイヤが機能を果たした場合は、必ずその落下防止ワイヤ及びスナップフック受金具は交換してください。屈曲や素線断線等、ワイヤに異常がある場合も交換してください。
- ハロゲン器具等と同時に使用する場合は、本器具から十分に遠ざけてください。熱により破損、溶解の原因となります。

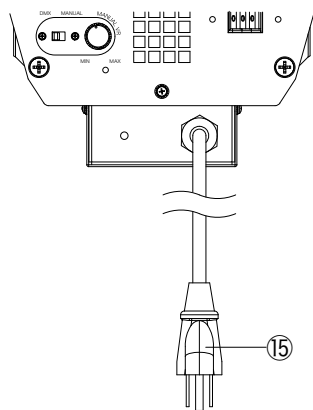
[3]電源の接続

(1)入力電源について

1) 入力電源はAC100V 50/60Hzの純直回路を使用してください。

(2)電源の接続

1) 電源プラグ⑮をAC100V 50/60Hzの純直回路に接続してください。



⚠ 注意

- ・調光器の出力を電源として使用することはできません。
- ・プラグのアースが必ず接地されるように接続してください。

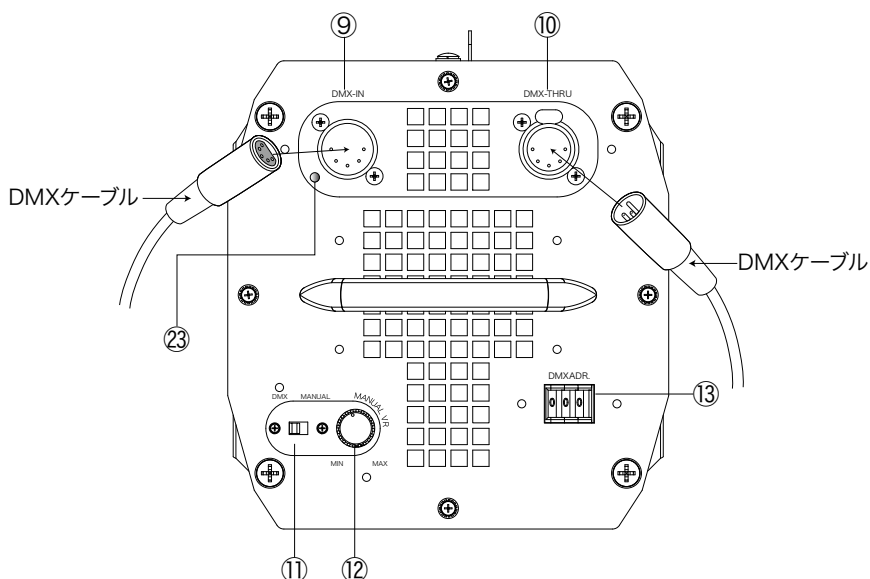
[4]操作方法

(1)DMX/MANUAL切替えスイッチ

1) 器具後部にあるDMX/MANUAL切替えスイッチ⑪で調光制御モードを選択してください。

- ・DMXモード : DMX制御で調光させる場合、スイッチをDMXモードにします。
- ・MANUALモード : 器具の調光ボリューム⑫で調光させる場合、スイッチをMANUALモードにします。

2) 照射したい場所に器具を向けてください。



(2)DMXアドレスの設定

1) DMX/MANUAL切替えスイッチ⑪をDMXモードにします。

2) ADDRESS設定スイッチ⑬でアドレス番号を設定します。

また、アドレス番号を0,0,0でDMX信号入力なしでも、フル点灯が可能です。

3) DMXケーブルをDMX-INコネクタ⑨へ接続します。

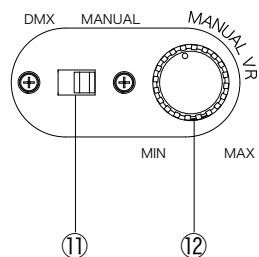
信号を受信すると、DMX-INコネクタ⑨のLED⑬が点灯します。

4) THRU接続を使用する場合は、DMXケーブルをDMX-THRUコネクタ⑩へ接続します。

※THRUコネクタに接続先がないDMXケーブルを接続したまま使用しないでください。
誤動作の原因となります。

(3)手元制御

- 1) DMX/MANUAL切替えスイッチ⑪をMANUALモードにします。
- 2) 調光ボリューム⑫を時計回りにまわすと調光レベルが上がります。。



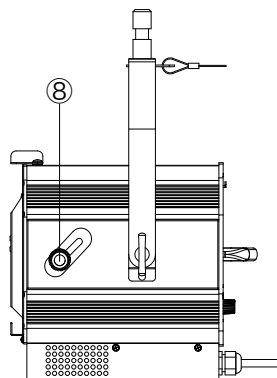
(4)点灯チェックモード

- 1) DMX信号の入力がなくてもアドレス番号を指定することで点灯チェックが可能です。
アドレス番号、902 (2%) から000 (フル点灯) で、約1%きざみで点灯が可能です。

アドレス番号	%
902	2
903	3
904	4
905	5
⋮	⋮
910	10
⋮	⋮
920	20
⋮	⋮
999	99
000	100

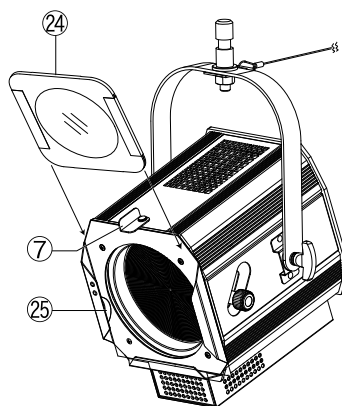
(5) フォーカス調整

- 1) 器具側面のフォーカスハンドル⑧を反時計回りにまわして緩め、前後に動かし照射径を調整します。
(ハンドル前側：照射径小、ハンドル後側：照射径大)
- 2) 調整後、フォーカスハンドル⑧を時計回りにまわし確実に固定します。



(6) フィルタホルダの装着

- 1) 使用するカラーフィルタをフィルタホルダ⑭のサイズに合わせ、ナイフなどで切っておきます。
- 2) 器具からフィルタホルダ⑭を取出します。
- 3) カラーフィルタをフィルタホルダ⑭に挟みます。
- 4) フィルタホルダ枠押さえ金具⑦をスライドさせ、ロックを解除します。
フィルタホルダ⑭を本体に装着し、フィルタホルダ枠押さえ金具⑦をスライドさせ、ロックします。
次に、フィルタホルダ⑭を固定する板バネ⑮がフィルタホルダ⑭を押さえつけていることを確認してください。



[5]レンズの清掃

1) メガネ拭きのような柔らかい布でレンズの円周に沿って拭いてください。

※レンズに傷を付けないように注意し、取扱ってください。

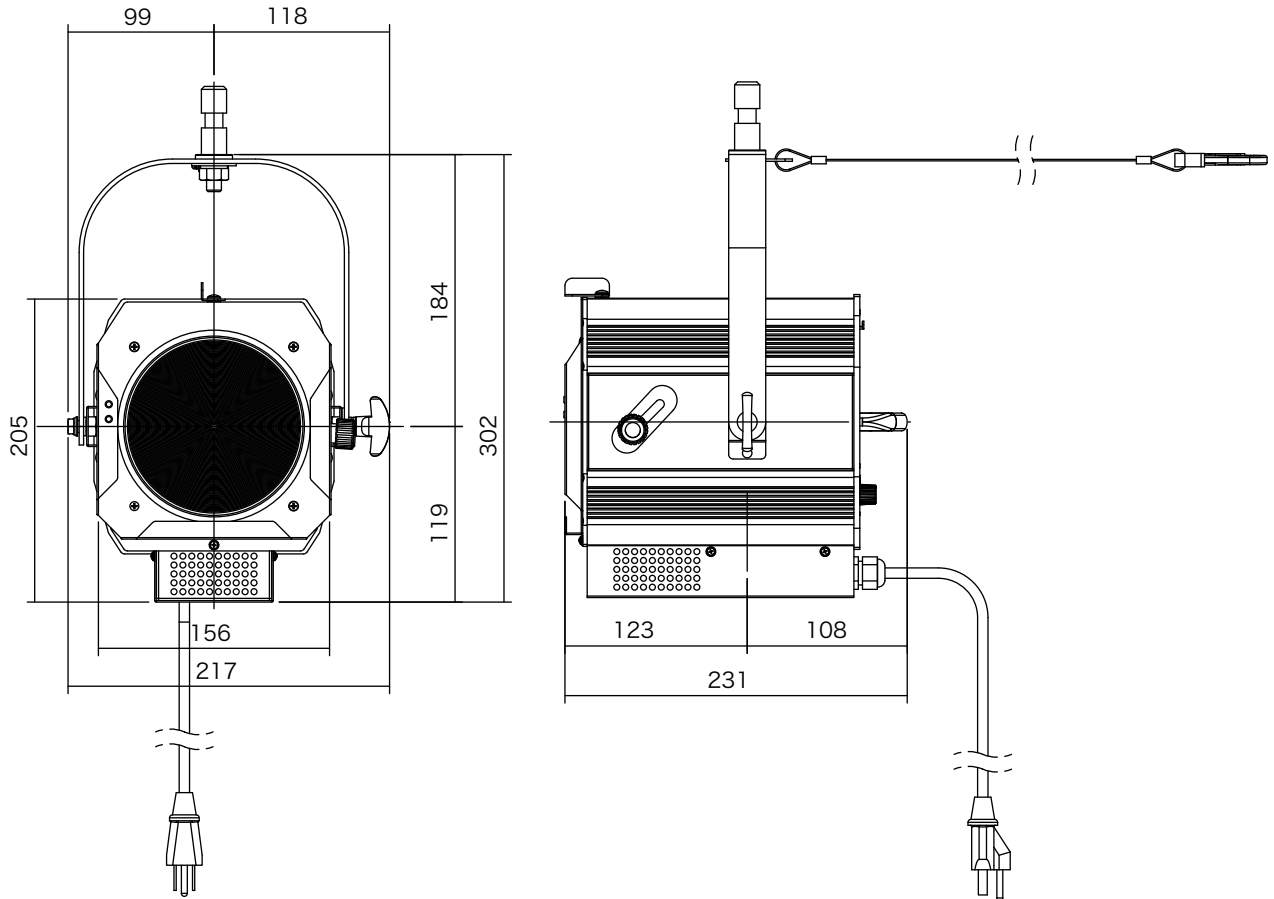
(著しく汚れたときは、弊社に清掃を依頼してください)

注 意

- シンナーやアルコール等の有機溶剤は、レンズの溶解、変色、割れの原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 表面を乾いた布で強くこすると、摩擦により、静電気が発生し、空気中の埃が付着し易くなり、傷の原因となりますので、注意してください。

《外形寸法》

(単位：mm)



《照度データ》

■3000K 最小径 (フィールド角26°)

照射距離 (m)	3	5	7
照射面直径 (φm)	1.4	2.3	3.2
最高照度 (lx)	2270	810	410

■3000K 最大径 (フィールド角44°)

照射距離 (m)	3	5	7
照射面直径 (φm)	2.4	4.0	5.6
最高照度 (lx)	950	340	170

■5000K 最小径 (フィールド角26°)

照射距離 (m)	3	5	7
照射面直径 (φm)	1.4	2.3	3.2
最高照度 (lx)	2610	940	480

■5000K 最大径 (フィールド角44°)

照射距離 (m)	3	5	7
照射面直径 (φm)	2.4	4.0	5.6
最高照度 (lx)	1080	390	200

※LED素子には、色調、明るさにばらつきがあり、同一の型名の器具においても色調、明るさが異なることがあります。

《点検と修理》

■ 日常点検と整備のお奨め

お買い求めいただいた照明器具の性能を末長く維持し安全を確保するために、下記の日常点検項目に基づき、点検及び処置をしてください。

——— 日常点検項目および処置 ———

分類	点検項目	処置			修理 依頼
		清掃	増締め	交換	
灯体	灯体、アーム、ダボに異常変形はないか。				○
	角度調整部の動作、ハンドルの締付けに異常はないか。				○
	脱落した部品はないか。				○
	フィルタホルダ枠に変形、歪み、などの損傷はないか。				○
	フィルタホルダ枠の押さえ金具（フィルタホルダ固定ネジ）に変形などの損傷はないか。				○
	フォーカス調整部は円滑に動作するか。				○
	ネジ類に緩みはないか。		○		
	灯体内に埃や紙吹雪はないか。				○
*落下防止 ワイヤ	スナップフック受金具に歪みなどの損傷はないか。				○
	ワイヤにほつれ、キンクなどの損傷はないか。				○
	スナップフックに伸びなどの損傷はないか。				○
	ダボの緩みはないか。				○
レンズ	レンズは汚れていないか。	○			
	レンズに変色、ひび割れなどはないか。			○	
電源ケーブル	被覆に傷、変色、亀裂などはないか。				○
プラグ (接続器)	変色、損傷はないか。				○
	ネジの緩みはないか。		○		
	プラグの着脱は良好か。				○
内部配線	変色、傷、焼損はないか。				○
絶縁抵抗	器具は漏電していないか。(絶縁抵抗5MΩ以上)				○
各種ボタン、 スイッチ、ボリューム	各種ボタン、スイッチ、ボリュームの操作に異常はないか。				○

※落下防止ワイヤの修理は、ワイヤおよび金具の一式交換となります。

■ 定期点検のお奨め

- (1) 使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお奨めします。
- (2) 定期点検（保守契約）については、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

■ 修 理

- (1) 修理の判断
上記日常点検項目に基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、及びその他の異常がある場合は、修理依頼をしてください。
- (2) 修理は、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

《仕 様》

定 格 電 圧	AC100V±10%(純直電源)
定 格 消 費 電 力	45W
定 格 周 波 数	50/60Hz
入 力 電 流	100V:0.5A
冷 却 方 式	自然空冷
使用角度範囲	
最高周囲温度	35℃
最高表面温度	50℃
最小照射距離	0.1m
最小離隔距離	0.1m
照 射 角	26°~44°
レ ン ズ	樹脂製フレネルレンズ
光 源	高出力電球色LED/高出力昼白色LED
相 関 色 温 度	3000K/5000K
平均演色評価数	Ra93/Ra90(代表値)
調 光 範 囲	0~100%
調 光 ・ 制 御 方 式	DMX512/手元調光VR
制御チャンネル数	1CH
灯 体 材 質	アルミニウム(一部鋼板)
塗 装 色	アイボリー
本 体 質 量	3.3kg
ダ ヲ	φ17mm
落下防止ワイヤ	φ3×500mm
電 源 ケ ー ブ ル	VCTF 0.75mm ² ×3芯 1.2m 平行接地極付15Aプラグ付
付 属 品	紙フィルタホルダ150mm×150mm

注意:LED素子には、色調、明るさにばらつきがあり、同一の形名の器具においても色調、明るさが異なることがあります。

《弊社連絡先》

警告表示・銘板が読みにくくなったり、はがれそうになったときは、すぐに貼り替えて修復してください。
また、商品のお問い合わせやアフターサービスは、最寄りのサービスセンター・支店等にご連絡ください。

東京サービスセンター TEL 03-3607-2166

サービスセンター フリーダイヤル 0120-092-714

記載の製品に関しましては、改良の為、予告なく仕様変更を行うことがありますので予めご了承ください。

株式会社 松村電機製作所

本 社 〒113-0031 東京都文京区根津2-12-1 TEL03-3821-6169(代) FAX03-5685-3144

東京支店 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

関西支店 〒530-0043 大阪市北区天満2-12-16 TEL06-6352-0245(代) FAX06-6352-2972

中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-28-12名古屋若宮ビル TEL052-265-1591(代) FAX052-265-1590

九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20NMF博多駅前ビル TEL092-451-3831(代) FAX092-451-3829

東北支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-6-2KJビルディング TEL022-221-7791(代) FAX022-267-6892

広島営業所 〒732-0052 広島市東区光町1-12-20もみじ広島光町ビル TEL082-569-8161(代) FAX082-569-8169

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-8-1エテルノビル TEL011-210-9561(代) FAX011-210-9562

沖縄営業所 〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-15-1上山ビル TEL098-860-6377(代) FAX098-860-6392

盛岡営業所 〒020-0021 盛岡市中央通1-9-11CUBE映画館通りビル4階H号室 TEL019-656-1588(代) FAX019-656-1589

MF(テレビ録音) 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

サービスセンター 〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-5-6 TEL03-3607-2166(代) FAX03-3627-2505

2022.10_1